

Smile Woman!
インタビュー⑦5!この人の仕事のかたち
どこか置いてある「仕事」をしているおの人にズームアップ。

家族の和を育む ふる里のような住家を

有限会社彩ろ里工房
代表

大月久美子さん

www.jirikojo.jp
0309-250-0300



kumiko Otsuki

藤田地区を基盤とし、岡山市南部や、茶屋町、早島地区の二帯で注文住宅の設計・施工やリベリエーションを手がける有限会社彩ろ里工房。同社はその家に暮らす家族の視点を大切にしていって、とりわけ女性にとっても使いやすい家づくり、リフォームの提案を行うことで評判を集めている。大月久美子さんは会社の代表として経営全般を取り仕切り、また自らも建築士として現場に立ち活躍する。

◎「お客さま本位」を追求し独立開業

大月さんが建築業界に飛び込んだ頃、まだまだ業界は男性社会で、女性是非常に珍しかつたという。そのきっかけをうかがうと、「最初から建築に興味があったわけではなく、何となく手に職があったら、仕事に困らないという軽い気持ちからでした」と笑う。当初、住宅メーカーで営業職として勤務していき、中で、したいにお客さまの住まいに寄せる想いをカタチにすることに喜びを覚えるように。その後、お客さま本意の家づくりを突き詰めていくうえで、制約も多いメーカー勤務ではどうしても限界があると痛感し、18年前に独立を決心したという。

◎心地よく、家族の和を育む住宅を

彩ろ里工房という社名の由来をうかがうと、「人間にとって原点ともいえる家族が集い、親から子へ文化を伝える場としての「家」の役割を考えたい時、その象徴となるのが昔ながらの囲炉裏端だと考えました」また「みなさんの家を彩りたい、ふる里の

ように安らげる家をつくりたいという想いが込められているんです」と語る。

そのことは通り、彩ろ里工房では、家族の和を育み、また快適性や価値の高い家づくりを大切にす。その実例として、独立当初から、当時としては珍しいリビング階段や、現在では常識となつている高気密高断熱など、性能重視の家づくりを提唱してきた。「地味なことから心地よく家に居るのが楽し」と言っていたけれど本当にうれいすね」と大月さんは目を細める。

◎自慢のモデルハウスが完成!

彩ろ里工房では昨年、カナダの輸入住宅メーカー「セイルホーム」と提携。年末にはそのモデルハウスも完成させた。「カナダの家は、価格に対する住宅性能がとても高く、自信を持つてお薦めできます。それに年月を重ねることによって耐久性が高まり、2×6工法で耐久性、耐震性も優れているので、リフォームしながら何世代にもわたって暮らせます」とその魅力を力説する。同社では、この1月17日・18日にモデルハウスのオープン記念イベントを開催し、また宿泊体験の予約も好評受付中。これから家づくりを考えている方は、ぜひ訪ねてみて、注目の住宅メーカーだ。

